

マニフレックス 大阪ショールーム移転、リニューアルオープン

イタリア生まれの熟睡寝具マニフレックス(株式会社フラグサポート 代表取締役社長:山根崇裕、東京都港区) は大阪府大阪市中央区平野町にあるマニフレックス大阪ショールーム(株式会社フラグサポート 大阪支店)を移転し、2015年9月上旬より大阪市中央区瓦町にてリニューアルオープンいたします。

マニフレックス大阪ショールームは、表参道ショールームに続く2店舗目として、2012年12月にオープンし、これまで多くのお客様よりご愛顧をいただきました。この度、現ショールームのビル自体が耐震工事のために建て直しされる見通しとなり、6月末を持ちまして退出させていただきます。その後、場所を移してリニューアルオープンいたします。移転先は現ショールームにもほど近い、御堂筋をはさんだ向かい側で、ビルの1Fのスペースです。大阪市営地下鉄、御堂筋線「本町駅」から徒歩3分と便利な立地となっています。

なお、現在の場所での営業は6月21日までとなります。新事務所、ショールームのインテリア掃工事に入ります間、ご不便をおかけいたしますが、より一層充実したショールームとして9月にオープン予定ですので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新・マニフレックス大阪ショールーム

magniflex
マニフレックス
大阪ショールーム
9月上旬オープン!!

新住所
〒541-0048
大阪市中央区瓦町3-6-5
銀泉備後町ビル

最寄り駅
本町駅1番出口より
北に徒歩3分

【移転詳細】

所在地:大阪市中央区瓦町3-6-5

銀泉備後町ビル1F

最寄駅:大阪市営地下鉄御堂筋線 本町駅

(1番出口より3分)

電話:ショールーム 0120-028-008

事務所 06-6204-4137

(休業期間中も電話対応は継続いたします。)

移転に伴う休業期間: 6月22日~9月上旬

※リニューアルオープン日の詳細は別途ご案内いたします。

<マニフレックスについて>

イタリア・フィレンツェ近郊で1962年に設立、現在世界80カ国に展開する、世界最大級の熟睡寝具ブランド。国立フィレンツェ大学とエルゴノミクス(人間工学)に関する共同研究を進め、製品に反映。敷き寝具全般、枕や関連商品など熟睡と健康に係るアイテムをトータルにプロデュースしている。

マニフレックス略歴

- 1962年 イタリア・フィレンツェ近郊でジュリアーノ・マニ氏によりマニフレックス社設立
- 1986年 「真空ロールアップ製法」発明
- 1993年 日本市場進出
- 2012年 マニフレックス社 創立50周年
- 2012年 12月 (株)フラグスポーツ大阪支店開設
- 2013年 11月 日本発売20周年



<マニフレックス独自開発の高反発フォーム「エリオセル®」の特徴>

- 1 優れた体圧分散性・・・人の体は首と腰の部分に二つのS字カーブがある。眠る際の理想的な姿勢はこの二つのS字カーブが立っているときの姿勢と同じように保たれること。マニフレックスは高反発フォーム「エリオセル」の効果で理想的な寝姿勢を保つことが出来き、体圧を分散してくれる。
- 2 通気性/温度変化に強い・・・エリオセルはオープンセル構造で非常に通気性に優れる。湿気や汗がこもってムレることもなく、温度変化にも強いので、冬に硬くなったりせず、年間を通して高い品質を維持。電気毛布や湯たんぽの併用も可能。
- 3 耐久性・・・耐久性にも非常に優れ、マットレスにはまれな10年~15年の長期保証を実現している。
- 4 オコテックス・・・マニフレックス製品は人体・地球環境に有害なものを含まないエコロジー製品として、オコテックススタンダード100(エコロジーを証明する国際規格)の認証を取得。
- 5 真空ロールアップ製法・・・イタリアで特殊な機械を用いて体積を8分の1に圧縮。開封時に日本の空気を吸って膨らむ。この製法により、輸送において排出ガス(CO2)を抑制、コストも大幅に削減し価格に反映されている。また、工場からお客様のご自宅までほこりや雑菌などの混入を防ぎ、コンパクトな形状のため、間口の狭い住宅やスペースの限られた搬入経路の運び込みも容易。エリオセルの高反発性・通気性・耐久性の良さからこの特殊な輸送形態が実現した。

<株式会社フラグスポーツについて>

株式会社フラグスポーツは、代表取締役社長の山根崇裕が1993年、日本へのマニフレックス製品の輸入・販売を開始。日本・アジア総代理店を務める。2013年11月1日 日本発売20周年を迎えた。多くの著名アスリートに愛用者が多く、健康産業の一つとして各界から注目されている。本社:東京都港区 代表取締役社長:山根崇裕

公式サイト: <http://www.flag-s.com/>

フェイスブック: <https://www.facebook.com/MagniflexJP>

ツイッター: https://twitter.com/magniflex_JP

